

別添2-2 本市における両事業の連携状況について（隣接していない地域）

No	小学校	児童館 館名	放課後子ども教室 教室名	基本情報					放課後子ども教室における放課後児童クラブ児童の参加状況																
				対象学年	登録定員	活動場所	人材	活動日	実施予定日数（）： うち 土日＋長期休	児童クラブ児童の登録可否 ○→できる ×→できない	児童クラブ児童数 ／ 子ども教室の全体児童数	通常の活動日におけるプログラム								その他のプログラム等					
												児童クラブ児童の有無	主な内容	実施場所	実施頻度	児童の参加形態	児童の参加の流れ	出欠に係る児童クラブとの共有	募集手続き等で特に工夫していること	当日の運営体制	当日の児童館職員 の役割	参加の有無	主な内容	実施場所	実施頻度
1	柳生小	柳生児童館	柳生子ども塾	1～6	講座ごと登録 (各5～30名)	体育館、校庭、 音楽室等 柳生市民C、集会所	PTA PTAOB 地域住民	月・水 土・日・祝・長期休業日	100 (10)	○	37/170	○	フラワーアレンジメント、茶道、百人一首、リコーダー、けん玉等	小学校内	月1～4回	②	①	②	・学校の新入生説明会でプログラムの説明・募集前に児童館職員と話し合い	コーディネーター4名、安全指導員1～3名	○	市民センター主催コンサート、町内会夏祭り・サロン会	市民センター、町内会集会所	年3回	
2	西中田小	西中田児童館	西中田こみこみスクール	1～6	講座(10～50名) もくもく(20名) こみこみ(30名)	多目的室、理科室、 音楽室、余裕教室、 校庭、体育館	PTAOG 大学生	月・金(こみこみルーム) 木(もくもくキッズ) 水・土・長期休業日(講座)	163 (43)	○	27/178 (一体的に実施する児童クラブの児童数を含む)	○	折り紙、歌、手話、かるた、書道等	小学校内	週1回～月1回	②	①	①		3名	○	硬筆練習会	小学校内	年2回	
3	黒松小	黒松児童館	わいわいパーク黒松	1～6	わいわいクラブ 50名 全校教室30～100名	わいわいルーム、 多目的室、 生活科ルーム、 体育館、中庭等	育成会 支援本部SV 支援本部ボラ 給食ハート 生活学習サポ 地域住民	月～金 土・日・長期休業日 (随時)	230 (34)	○	3/46	○	宿題・自由遊び	わいわいルーム	週1回	②	①	②	児童クラブの募集 ×切後に募集している	2名	○	クッキング 工作 共催事業(サッカー等)	家庭科室 多目的室 体育館	年11回	
4	川前小	川前児童館	やしおキッズ	1～6	なし	図書室・多目的室	PTAOG 支援本部SV	月・水 休日(年6回)	79 (6)	○	34/126	○	通常のプログラム全て	小学校内	週2回	②	①	×		3～4名	○	工作教室	コミュニティセンター	年1.2回	
5	将監小	将監児童センター	将監けやきっこ放課後教室	3～6	定員なし (H28は151名登録)	放課後教室、 体育館等 将監市民センター、 集会所等	PTAOG 大学生 高校生	月～金 土・日・長期休業日 (随時)	230 (40)	○	24/164	○	自由活動	教室・体育館	週5回	②	①	×		5～7名(イベントは内容により3～20名)	○	工作関係	放課後教室・ランチルーム	年5回	
6	中山小	中山児童館	生き生き中山っ子教室	1～6	40名	図工室、理科室、 体育館 中山市民C和室等	PTAOG 支援本部SV 主任児童員 図書事務 児童館子育て支援クラブ	月～金(週3日) 土・日・長期休業日	213 (56)	登録制ではなく 毎月の申込制		○	工作、生け花、 レゴ、ビーズ、 ダンス、かるた、 茶道等	小学校内	週4回	②	①	×	参加児童数が多いので、学年別で開催することが多い。	1～4名(内容と参加人数による)	○	冬休みスペシャル 夏休み工作教室等	小学校内	年5回	
7	鶴が丘小 (隣接:鶴が丘児童センター)	のびっ子クラブ鶴が丘	1～6	なし・登録制	多目的ホール、 PTA室、 地域連携室、 図工室、 体育館等	支援本部SV PTAOBOG 社会学級 地域住民	月・水・金 土・日	121 (4)	○	19/165	○	自由遊び、宿題	地域連携室、PTA室、多目的ホール	週3回	②	①	×		5.6名	○	ハロウィン、もちつき、クリスマス、革細工等	多目的ホール、体育館等	年12回		
8	松森小	鶴が丘児童センター	松森夢塾	2～5	35名	2階学習室	社会学級 PTA	月・水	55 (0)	○	11/34	○	プリント、宿題	空き教室	週2回	②	①	②		3.4名	×				
9	遠見塚小	遠見塚児童館	遠見塚YOU-GOクラブ	1～6	50名	多目的室、わかば、 生活科室	PTAOBOG 地域住民	火・木・金	112 (0)	○	37/99	○	オカリナ、折り紙、音遊び、書道、自主学習等	生活教室等	週3回	②	①	×		コーディネーター2.3名、安全指導員1.2名、ホランティア1.2名	×				
10	東四郎丸小	東四郎丸児童館	東四かにかっこ放課後子ども教室	2～5	30名	視聴覚室	支援本部SV 大学生 NPO	月・水 土(随時) 長期休業日 (夏季3日、冬季2日)	94 (16)	×		○	ドッチビー、スライムづくり、 創作、防災・減災ワーク、ハロウィン	小学校、児童館、コミュニティセンター	月1回	①	①②両方あり	①	児童クラブ・放課後子ども教室でそれぞれ募集し、まとめる	子ども教室2名、児童クラブ2名	レクの担当	○	児童館まつり、バザー、かっこまつり、活動報告会、クリスマス会	小学校、児童館、コミュニティセンター	年5回
11	加茂小	加茂児童センター	加茂っ子クラブ放課後教室	1～6	40名程度	図工室	PTAOBOG 育成会	水 休日(随時)	42 (5)	○	0/26	×								○	焼き芋、冬フェスティバル	校庭、市民センター体育館	年2回		
12	館小	館児童センター	館放課後子ども教室	2～6	20名程度	図書室等	PTA PTAOG	水・金 長期休業日(土)	50 (1)	○	0/20	×								×					
13	南中山小	南中山児童センター	マンサクキッズ	1～6	80名程度	視聴覚室、体育館、 校庭、 コンピュータ室等	PTA 地域住民	水 長期休業日(水)	38 (2)	×		×								×					
14	台原小	台原児童館	台原小放課後子ども教室	1～6	なし	生活科室、図書室、 体育館、プール、 校庭等	PTA PTAOBOG 主任児童員	月・水・金 長期休業日	85 (12)	×		×								○	サッカー、工作等	体育館、校庭	年3～5回		

No	小学校	児童館	放課後子ども教室	両事業の参画者・従事者の連携状況等		効果・課題等（子ども教室及び児童クラブの従事者・参画者等の所感）		
		館名	教室名	連携状況（内容/手段/頻度）	児童クラブ従事者と協議して工夫していること	児童クラブ児童が子ども教室に参加している場合		児童クラブ児童が子ども教室に参加していない場合
				①子ども教室の運営委員会に児童クラブの従事者が参加 ②→日常的な打ち合わせを実施 ③→打ち合わせ以外の情報共有 ×→連携していない	①→人材や場所確保の面で ②→事故防止や事故発生時の対応の面で ③→支援を要する児童への対応の面で	効果	課題	課題、参加していない理由
1	柳生小	柳生児童館	柳生子ども塾	③(名簿の提供、子どもの状況・安全に児童クラブへ帰っているか等/月1回)	②春・夏休み前に、市民センター館長・児童館職員と確認 ③児童館職員と情報交換	(児童クラブ) ・子どもたちにとって、地域の方々と出会いながら豊かな体験を広げる良い機会となっている。 ・地域の方と繋がることで、児童館活動においても様々なサポートが得られる。		
2	西中田小	西中田児童館	西中田こみこみスクール	①(年間事業計画、予算等/年1回) ③(児童クラブ登録児童について/電話や面談/年5.6回)	③配慮、注意すべき点について相談している	(子ども教室) ・放課後を過ごす場所が増え、多くの児童と交流ができる。 (児童クラブ) ・子どもたちの活動の選択肢が広がる。	(児童クラブ) ・参加者を増やすためには、両者がさらに協働してプログラムの周知を進める必要がある。	
3	黒松小	黒松児童館	わいわいパーク黒松	②(共催事業の段取り・両クラブ登録児童の把握・チラシ交換等/年4回)	①多目的室や体育館が確保しやすい午前授業の日を選ぶことが多い ②各々、事故防止・発生時のマニュアルにより対応 ③事前に情報を共有し、必要であれば専任で一人配置する	(子ども教室) ・共催事業では、単独ではやりにくい大人数のイベントができる。 ・お互いの情報の共有や、子どもたちの交流を図ることができる。 (児童クラブ) ・共催事業では、互いの人材の持ち味を生かすことができる。	(子ども教室) ・児童館が離れているため、日常的に一緒に遊ぶ等の交流は回りづらい。 (児童クラブ) ・移動時の安全確保や管理責任などは検討が必要。	
4	川前小	川前児童館	やしおキッズ	③(教室の活動内容/お便り共有/月1回)	③児童館で要支援児にどのような対応をとっているかを確認し子ども教室スタッフで共有	(子ども教室) ・放課後の居場所について児童の選択肢が増える。 (児童クラブ) ・児童が多様な活動を体験できる。		
5	将監小	将監児童センター	将監けやきっこ放課後教室	③(共通登録児童の名簿提供)		(児童クラブ) ・児童の様子や課題等について情報の共有ができる。	(子ども教室) ・児童センターが離れており、行き来に時間が必要。交通安全上も心配。 ・児童センターのマンパワーの面で、新しい取組みは難しいとの話がある。 ・過去に合同の活動を行った際は、センター側の希望が多く大変であった。	
6	中山小	中山児童館	生き生き中山っ子教室	②(年数回のイベントについて/随時)		(児童クラブ) ・子どもたちの活動の選択肢が広がる。	(児童クラブ) ・子ども教室の活動後に児童館へ帰ってくる児童の所在確認。	
7	鶴が丘小 (隣接:鶴が丘児童センター)	のびっ子クラブ鶴が丘		③(お便りの共有/月1回)		(児童クラブ) ・子どもたちと地域の方々が顔のわかる関係になる。 ・学習に関して保護者の安心感に繋がっている。	(児童クラブ) ・年度初め、初めて利用する保護者は子ども教室と児童クラブの違いや両事業の関係性がわからず、出欠のことや送迎できるか等で現場が混乱することがある。	
8	松森小	鶴が丘児童センター	松森夢塾	③(下校に関すること/電話/月1~2回)		同上	同上	(子ども教室) ・学習がメインであり、現状以外のイベントは計画していない。
9	遠見塚小	遠見塚児童館	遠見塚YOU-GOクラブ	③(年間のスケジュール・登録児童や家庭状況等の把握/電話・おたより・地域関係者の会議/年4回)		(児童クラブ) ・児童クラブ児童が登録外の児童と遊ぶことができる。 ・子どもたちの活動の選択肢が広がる。	(児童クラブ) ・子ども教室の活動後に児童館へ帰ってくる児童の所在確認。	
10	東四郎丸小	東四郎丸児童館	東四かっこ放課後子ども教室	②(月1回のプログラムについて/随時) (年間事業計画/年2回)	①両事業で相談 ②両事業で共有 ③両事業で共有し、担当者を決めて対応	(子ども教室・児童クラブ) ・他学年との交流が図られ、心の成長が見られる。 ・子どもたちとの繋がりが強くなる。 ・地域と学校が繋がることで、地域全体のコミュニケーションが深まる。 ・放課後の子どもたちの安定した居場所となる。	(子ども教室・児童クラブ) ・冬は日没が早くなり活動時間が短くなるため、平日のレクリエーションは難しくなる。	
11	加茂小	加茂児童センター	加茂っ子クラブ放課後教室	③(お互いの行事/年3回)		(児童クラブ) ・子ども教室は児童センターとは異なった行事を企画するため、児童の多様な興味関心に応えることができる。 ・世代間交流、地域交流という点で効果的である。	(児童クラブ) ・行事の時期や内容が重ならないように、連絡調整が必要である。	
12	館小	館児童センター	館放課後子ども教室	×				(子ども教室) ・これまでの経過から、子ども教室の開催回数等が縮小傾向にある。
13	南中山小	南中山児童センター	マンサクキッズ	①(活動報告・予定の確認・情報交換等/年1回)				(子ども教室) ・参加者数を制限するため、放課後のケアがなされている児童クラブの児童は対象外としている。
14	台原小	台原児童館	台原小放課後子ども教室	①(運営報告・情報交換/年2回)				※29年度は実質的な活動がなされていない模様